

あなたの備えが被害を軽減

逃げ遅れ  
ゼロへ!

# 新たな防災情報の 運用開始

平成 30 年の西日本豪雨災害を教訓に、誰もが理解しやすいよう災害発生危険性を 5 段階で発表し、適切なタイミングで住民が避難行動を取れるよう、避難に関するガイドラインが改定されました。もしものとき、自分で自分の命を守れることは、市の大きな防災力になります。自らの命を守る災害対策を、みんなで実践しましょう！

問 暮らしの安全課（氷上庁舎内） ☎ 82 - 0250

## 1 新たな警戒レベルを運用開始！

平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえて、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、行政は「住民が適切な避難行動を取れるよう全力で支援する」ことが政府のガイドラインで示されました。防災情報を 5 段階の警戒レベルで提供することで、情報の意味を直感的に理解しやすくし、避難行動を促します。

洪水・土砂災害の警戒レベル	避難情報など	住民の取るべき行動
警戒レベル 5	災害の発生情報 (市が発令)	すでに災害が発生している状況です。命を守る最善の行動を取りましょう。
警戒レベル 4 (全員避難)	避難指示(緊急) 避難勧告 (市が発令)	全員、ただちに安全な場所へ避難、または、建物の 2 階以上に垂直避難しましょう。
警戒レベル 3 (高齢者などは避難)	避難準備・高齢者等 避難開始 (市が発令)	高齢者など、避難に時間を要する人は避難しましょう。他の住民は避難準備をしましょう。
警戒レベル 2	注意報 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル 3 や 4 で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難することが大切です！



## 2 各自治会・市内事業者の防災計画を立てましょう

5段階の警戒レベルを参考に、台風などの災害が発生したらどう対応するのか、自治会などで防災活動のタイムラインを立て、みんなで共有するようにしましょう。福祉事業所などでの防災計画・避難確保計画の検討・作成や、従業員への防災研修も大切です。くらしの安全課で相談に応じます。

住民1人ひとりの理解  
と協力が必要です。



上：事業所などでの段ボールベッドの組み立て訓練の様子  
左：地区の防災研修会の様子

## 3 地域や家庭でも出水期に備えましょう

① 防災行政無線の戸別受信機の受信状況、乾電池の点検をしてください。乾電池が入っていると、停電時でも最大24時間受信可能です。戸別受信機は、各家庭に1台無料で貸し出しています。



② 家の近くの災害情報、避難所、避難経路を確認してください。くらしの安全課や各支所窓口に設置している丹波市防災マップ、兵庫県CGハザードマップをご利用ください。



県CGハザードマップ  
QRコード

③ 自宅、自主防災組織の防災資機材・災害備蓄の確認、点検をしましょう。非常時に必要な多くのものは、市内の店舗などで購入できます。

④ 自治会、近所の人と避難のタイミングを確認しておきましょう。安全な時間・安全な状況での避難が大切です。

⑤ 丹波市防災メールを登録しましょう。気象情報、避難情報が配信されます。スマートフォンアプリ版ができました！アプリ版ならではの機能も追加されています。ぜひダウンロードしてください。

■主な機能 / ①いざという時に備える「マイ避難カード」の作成 ②避難に関する情報や各種気象情報などをプッシュ通知 ③避難場所を地図で検索 ④12ヶ国語に対応 ⑤音声読み上げなど

■登録方法

下記QRコードを読み取るか、「Google Play」または「App Store」で「ひょうご防災ネット」を検索し、アプリをダウンロードしてください。



Androidは  
こちら→



iOSはこ  
ちら→



しっかりチェックして、  
災害に備えましょう！

